

資料編

<『中学校学習指導要領』(一部抜粋)> . . . P 1

<『中学校キャリア教育の手引き』(一部抜粋)> . . . P 1

<各界が求める人物像> . . . P 1～3

- 内閣府「人間力」
- 経産省「社会人基礎力」
- 厚労省「就職基礎能力」
- 文科省「4領域8能力」、「基礎的・汎用的能力」

<生徒(学年)の実態> ○学年目標 . . . P 3

<学年指導をベースとした、成長マインドセット(スライド、学年だより例)>

- 圧倒的目的意識 スライド一部 . . . P 4～6
- 成長(上質)マインドセット スライド一部
- 圧倒的目的意識 成長(上質)マインドセット 学年だより
- 成功?失敗? スライド一部
- やる気の出し方 スライド一部

<「けてぶれ(小サイクル)」を意識した自律した学習者への転換～自学ノート～>

- 通信による価値付け例 . . . P 6

<「けてぶれ(大サイクル)」を意識した自律した学習者への転換～各種テスト～>

- 分析例の配付 ○保護者への手紙 . . . P 7～9

<生徒アンケートから> . . . P 10～14

- けてぶれ ○圧倒的目的意識 ○効率と公正
- 成功?失敗? ○やる気の出し方 ○その他

<教員アンケートから> . . . P 14

<その他取り組み> . . . P 14～19

- 学年文庫
- GIGA スクール構想の中でのタブレットの自律的運用
- 命を大切にする授業 SCによる「認知のゆがみ」講話
- 黒マスク禁止ルール改正のための生徒会の取り組み

<参考文献等> . . . P 19

< 『中学校学習指導要領』（一部抜粋） >

【第4 生徒の発達の支援】

1 生徒の発達を支える指導の充実

(3) 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

< 『中学校キャリア教育の手引き』（一部抜粋） >

< キャリア教育とは？ >

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。

< キャリアとは？（一部抜粋） >

人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく連なりや積み重ね。

< 各界が求める人材像 >

○内閣府「人間力」 人間力戦略研究会報告書 web サイトより

<https://www.tfu.ac.jp/students/feature/arprn890000001r3x-att/human.pdf>

●人間力（内閣府「人間力戦略研究会報告書」、2003年4月より）

人間力は「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」をいい、次の要素によって構成されています。

構成要素	項目	内容
知的能力的要素	基礎学力	総合的・本質的な見方、専門的基礎的知識、数量的リテラシー（表・グラフ等）、情報リテラシー（情報コミュニケーション技術等）について理解し、活用できる。
	専門的な知識・ノウハウ	専門的知識と技能について、その背景や応用を含め、理解し、活用できる。
	論理的思考力	情報を収集し、複眼的・論理的に分析し、それを的確に表現できる。
	創造力	異なる知識を組み合わせたり、常識や固定観念にとらわれない新たな発想をしたり、さまざまな角度から柔軟に考えたりすることで、新しい価値や新たな行動を生み出すことができる。
社会・対人関係力的要素	コミュニケーションスキル	同じ世代の人たちだけでなく、異なる文化・世代・立場の人たちに対しても、傾聴し、気持ちや意思を推察・尊重・共感し、自分の気持ちや意思を適切に伝え、共に理解し合い、考えの対立を調整できる。
	リーダーシップ	目標やビジョンと問題意識をチームで共有し、メンバーの役割を明確にし、メンバーの能力の向上を支援し、メンバーの気持ちに配慮しながら支え、目標を妨げるメンバーの行動に対してはその理由を述べて注意し、チームを目標達成に導くことができる。
	公共心	社会の一員であることを自覚し、社会の問題を自分の問題として考え、社会全体の利益となるよう積極的に行動できる。
	規範意識	自分が判断・行動するときに従うべき基準について深く理解し、自主的・自立的に規律ある行動をすることができる。
自己制御的要素	他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高め合う力（相互啓発力）	他者の考えや意見（良かった点や改善点など）に素直に真摯な態度で耳を傾けるとともに、自分の考えや意見を謙虚に誠実な態度で発表したり、お互いのすぐれた点を見習ったりすることで、お互いに視野を広げ、啓発し合うことができる。
	意欲	生涯にわたって学び続けていきたいという学修意欲、自らを向上させて自分に合った職業について自立した社会生活を送りたいという就業意欲、ボランティア活動・地域活動等に参加して社会に貢献したいという社会参加意欲、高い目標を持ち成し遂げたいという目的意欲を持っている。
	忍耐力	目標を持ち、その実現のために、自分の欲求や衝動を適切にコントロールし、信念を持って粘り強く取り組むことができる。
	自分らしい生き方や成功を追求する力（自己受容・自己実現力）	自分をありのままに直視して受け入れたりと、成功モデルや理想像、十年後の自分（必然的将来像）を思い描いて踏み出したり、自分の可能性を探し、広げ、生かしていくことで、自己実現に向けて努力できる。

○経産省「社会人基礎力」

経済産業省「人生100年時代の社会人基礎力について」より

https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzairyoku/jinzaizou_wg/pdf/07_06_00.pdf

「人生100年時代の社会人基礎力」について

- 「人生100年時代」や「第四次産業革命」の下で、2006年に発表した「社会人基礎力（=3の能力/12の能力要素）」はむしろその重要性を増しており、有効。
- 一方で、「人生100年時代」ならではの切り口、視点が必要となってきた。

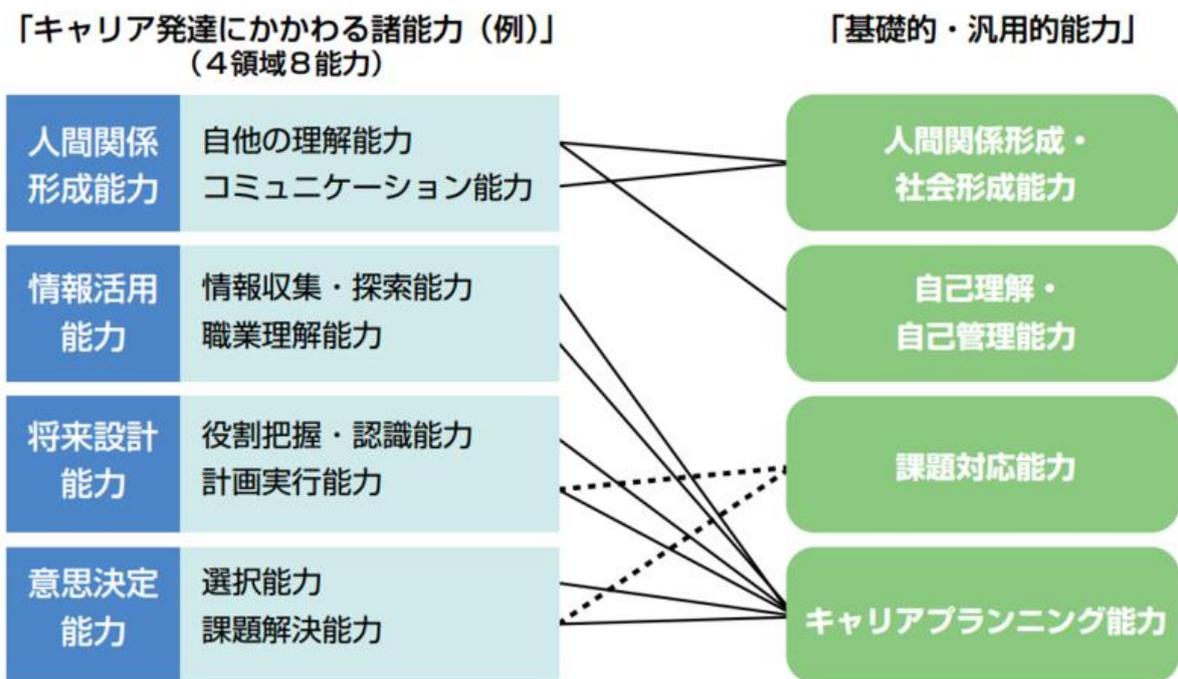
考え抜く力（シンキング）		前に踏み出す力（アクション）	
課題発見力	考え抜く力、問題発見能力、システムとして物事を考える力、ソーシャルとビジネスを融合する力、見えないものが見える力	主体性	変化に前向きに対処する力、範囲を限定せず主体的に動く力
計画力	高い倫理観を持ち正しい選択をする力、詰める力、金融的投資能力、未来を予想する力	働きかけ力	(※) 協業力、ネットワーキング行動、多様な人たちの繋がり、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす対話力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み（混沌、未知、異文化を受け入れ）信頼を勝ち得る（周囲を巻き込む）力
創造力	抽象思考力、価値判断力	実行力	詰める力、やり切る力、組織に隷属せず高い志を持ちピンで立てる力、チャレンジする力
チームで働く力（チームワーク）		新たな3つの視点	
発信力	(※) 協業力、ネットワーキング行動、多様な人たちの繋がり、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす対話力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み（混沌、未知、異文化を受け入れ）信頼を勝ち得る（周囲を巻き込む）力	何を学ぶか	学び続ける力、「OS」と「アプリ」、マインドセットとキャリアオーナーシップ
傾聴力		どのように学ぶか	リフレクションと体験・実践、多様な能力を組み合わせる
柔軟性	変化に前向きに対処する力、	どう活躍するか	自己実現や社会貢献に向けて、企業内外で主体的にキャリアを切りひらいていく
情況把握力	感情を学ぶ、EQ (Emotional Intelligence Quotient)、情緒的資本		
規律性	シチズンシップ、高い倫理観を持ち正しい選択をする力		
ストレスコントロール力	Work As Life		

○厚生労働省「就職基礎能力」 厚生労働省 web サイトより

<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/03/h0310-6a.html>

企業が若者に求める就職基礎能力	
コミュニケーション能力	
意思疎通	自己主張と傾聴のバランスを取りながら効果的に意思疎通ができる
協調性	双方の主張の調整を図り調和を図ることができる
自己表現力	状況にあった訴求力のあるプレゼンができる
職業人意識	
責任感	社会の一員として役割の自覚を持っている
向上心・探求心	働くことへの関心や意欲を持ちながら進んで課題を見つけ、レベルアップを目指すことができる
職業意識・勤労観	職業や勤労に対する広範な見方・考え方をもち、意欲や態度等で示すことができる
基礎学力	
読み書き	職務遂行に必要な文書知識を持っている
計算・数学的思考	職務遂行に必要な数学的な思考方法や知識を持っている
社会人常識	社会人として必要な常識を持っている
ビジネスマナー	
基本的なマナー	集団社会に必要な気持ちの良い受け答えやマナーのよい対応ができる
資格取得	情報技術関係の資格 経理・財務関係の資格 語学関係の資格

○文部科学省「4領域8能力」と「基礎的・汎用的能力」との関り
 文部科学省『キャリア教育の手引き』より

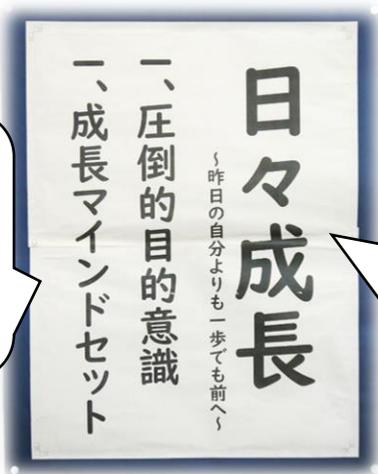


※図中の破線は両者の関係性が相対的に見て弱いことを示している。「計画実行能力」「課題解決能力」という「ラベル」からは「課題対応能力」と密接なつながりが連想されるが、能力の説明等までを視野におさめた場合、「4領域8能力」では、「基礎的・汎用的能力」における「課題対応能力」に相当する能力について、必ずしも前面に出されてはいなかったことが分かる。

<生徒（学年）の実態>

○学年目標

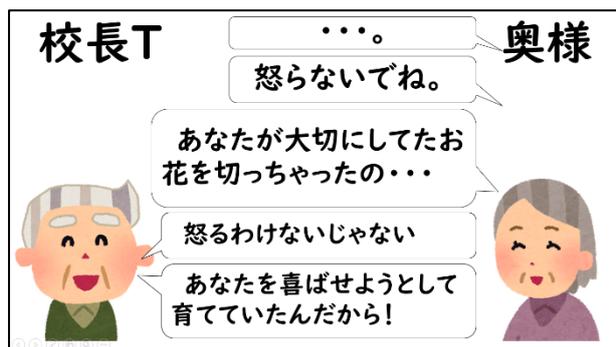
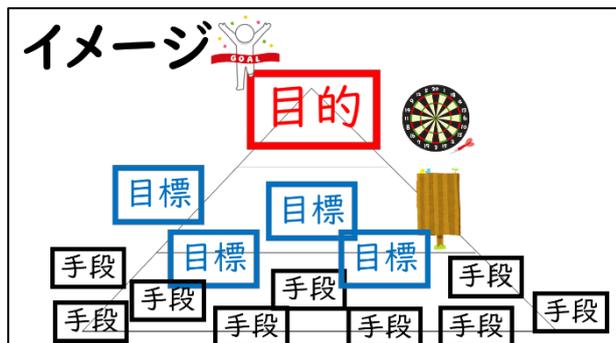
各学級の前面だけでなく、学年フロアにも掲示。常に生徒の目に入るようにしている。



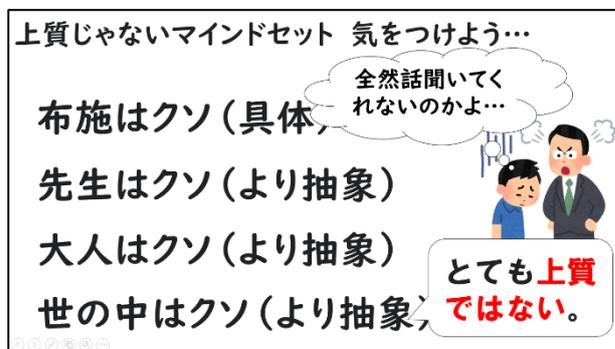
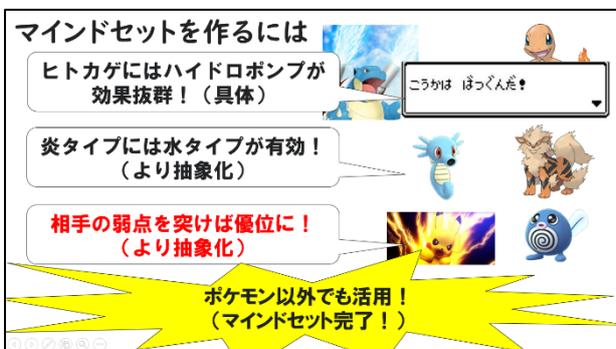
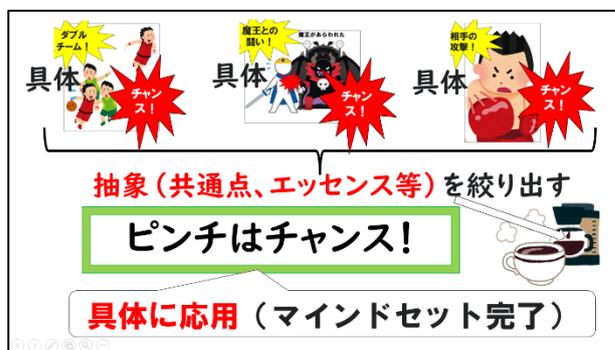
「日々成長」が最上位目的。それを達成するための柱が二つ。
 「成長マインドセット」は2年時、「上質マインドセット」だったが、イメージしやすいように3年時から「成長マインドセット」へ。

< 学年指導をベースとした、成長マインドセットスライド、学年だより例 >

○ 圧倒的目的意識スライド (一部)



○ 成長 (上質) マインドセットスライド (一部)



<「けてぶれ(大サイクル)」を意識した自律した学習者への転換 ~各種テスト~>

○分析例の配付

<伝えて欲しいこと>

今回、県の学テは予告していた。それに向かって復習してはいたはず。その前提で話。また、毎回の定期テスト時にさんざん振り返りを行ってきた。これからも同じ。目標をもって勉強、結果を受けて振り返り。その都度その都度、自分の勉強の質が向上する。

これは究極的なところは人生も同じ。勉強を通じた「けてぶれ」「PDCA」のマインドセット、これができる人間は強い。その練習を中学校の定期テストで繰り返そう。また、今後も様々な「振り返り」の質を上げて欲しい。ただ「書くだけ」の作業になっていることもよくある。意識も持ちようである。

ともかく小学校からさんざん振り返りをしてきたみんなだから実は振り返りの観点とか良くわかっている人も多い。後はどれだけ「真剣に」振り返れるか?時間をかけて己と向き合えるか?振り返りが「作業」にならず「意味のある振り返り」になるように意識するだけでも全然違う。さあ、意識した「意味のある振り返り」をやってみよう。

国書書きでも文章でもOK。これも目的意識、自分自身の取り組みを振り返り、己の心と向き合い、自分のテストに向けての「勉強の質を上げる」ことが目的。

振り返りは両面どちらでも。フリーのほうがりやすい人はフリー素材。分けられているほうが良い人はそちらを。他にも自分なりに上手に使えば工夫して書いても良い。

<思い付きメモ>

- 勉強の悩み等募集。それについて先生方や友達からのアドバイス。学年だよりで今後やっていきたい。例)いつも勉強してて途中で集中力が切れます。そういう時どうすれば良いですか?それに対する各先生方のアンサー。ヤフー知恵袋みたいなイメージ。関係ないけど人生相談は「DJ あおい」へ。結構アツい。
- これを定期テストの振り返りとリンク。そして、振り返り日は「カテグなし」代わりに、全員がきちんとその分の時間を使い、振り返りを行い提出する。
- とにかく生徒の心に火をつけること。それが無いとどんな手段をもちいても効果は薄い。部活の練習と同じ。どんなに強豪校の練習メニューを取り入れても、そのメニューの意味や、取り組む気持ちがなければ向上しない。逆もしかり。基礎練習しなしくとも目的意識のあるチームは向上。凡事徹底。誰でもできることを誰にも真似できないくらいやる。
- 教員も凡事徹底。その凡事は、①素晴らしい価値観をきちんと自分で定める。②それに沿った子どもの行動は即、認める。③それを取り上げ全体に頒布し全体の価値観を強化する。の流れ。それによって集団に価値観が浸透する。当たり前だけど王道。そして真実。後は諦めずに信じてやり続けるか。私もできていない。だから簡単な道ではないがシンプル。The great teacher inspires!
- この振り返りで教科ごとの観点も分けてやったら、そもそも各教科での振り返りはいらぬ?逆に各教科で同じような観点で振り返りをしていたら、この全体の振り返りはいらぬ。そこを上手くリンクさせる方法は?

<当日の流れ>

- 上記の話(ニュアンスがだいたい同じならば担任独自の解釈で担任の言葉で話をしてください。そのほうが熱が伝わります。もちろん、オリジナルでも追加の話もOK)
- プリント配付。予想点を記入させる。
- 返却。各自読ませてみる。
- 振り返り例を配付。(場合によってはいくつか取り上げて紹介)
- シート記入。
- 回収。のち、良い振り返り等は、蓄積して次回以降も使う。

<観点 気持ち>

分析 GOOD ● 分析 BAD ● これから◎

<p>○目標点数を意識して頑張ることができた。</p> <p>○サボりそうになった時も頑張れた。</p> <p>○テストに向けていつも頑張っている。今回も頑張れた。</p> <p>○普段から予習・復習をする週間がしているので勉強では苦労しない。</p> <p>○課題テストの頃から「ヤバイ!」って気付いて1年の復習を本気で始めた。「テスト勉強」を意識できた。</p> <p>●そもそもやる気がなかった。</p>	<p>◎毎回、目標点数を良く考えてバランス良く勉強する。</p> <p>◎自分には「自分ルール」がある。苦しい時には「自分ルール」で乗り切るのでこれからも続けていきたい。</p> <p>◎自分の行きたい高校について普段から調べている。その高校の先輩の話や話を聞くとますます行きたくなる。そのためには勉強あるのみ!簡単な道ではないけど、これからは勉強は頑張る。</p> <p>◎どんな時でもいつもと同じように勉強を続けていく。</p> <p>◎まずは継続して続けてみる。最初は「〇〇分」とか時間ていく。そのうちやる気が出てきたら、分からないところを分かるようになるまでやる。</p> <p>◎勉強をめちゃめちゃ頑張る友達と定時連絡を行う。ただし、相手もOKでこちを助けてくれる余裕のある人に限定。</p> <p>◎自分ご褒美を設定。「〇〇できたら〇〇して良い」など。</p> <p>◎場所を変えてみる(集中できる環境をつくる)</p> <p>◎スマホを使わない!</p> <p>◎待ち受けを「頑張れ!」に。</p> <p>◎スマホを親に預ける。</p> <p>◎スマホをいじる時間を〇〇分までは許可してあげる。自分には、まったくゼロは厳しい。</p> <p>◎1時間ごとに15分の休憩を入れる。休憩時間と勉強時間のメリハリを。休憩時間にはオヤツを食べるOK!ご褒美。</p> <p>◎集中力が続かなかった時にどうすればよいか分からない。自分はそうなった時に気持ちを切り替える方法が必要。</p> <p>◎勉強ルーティンをつくる。</p>
---	---

<p>●最初は頑張れるけどいつも分からない問題が出る時やる気がなくなりました。</p> <p>●親に「勉強しなさい」と言われてやる気がなくなりました。</p> <p>●勉強の途中で眠くなってしまい、続けられなくなりました。</p> <p>●勉強不足による心理状態の焦りがケアレミスにつながった。</p> <p>●3月に休校になってから2ヶ月間無駄にした。このままではマズいってわかってはいたけど「明日から...」とだんだんと過ぎてしまった。</p>	<p>◎自分が集中できる時間を知る。まとめて勉強をやろうとしない。</p> <p>◎分からない問題が出たら気持ちを切り替える。そして友達や先生に聞く。分からない問題なんてあって当たり前!</p> <p>◎分からない問題が出たらノートで質問。しばらく放置。後から分ればそれでOK。いちいち気にしない。</p> <p>◎そもそも親のせいにはできない。これは自分自身の問題。言い訳をしないで自分自身の心と向き合える人になりたい。</p> <p>◎フリックを食べながらやる。</p> <p>◎十分勉強し気持ちを落ち着かせてからテストに臨む。</p> <p>◎去年はいつも定期テストの直前になってやっと早くから...と公開していた。この調子だと高校入る前に死ぬほど後悔すると思う。未来の自分に恨まれるのは嫌だから、今から日々の勉強に目的意識をもって自分のための勉強を頑張りたい。</p>
--	--

<観点 勉強方法、内容>

分析 GOOD ● 分析 BAD ● これから◎

<p>○今回友達に進められた赤ペンシート作戦がハマった。</p> <p>○南温園の読み取りができて社会の点数が上がった。南温園の読み取りはカルダで覚えられたから自分でカルダをつくって練習した。</p> <p>○「けてぶれ」をやってみたらハマった。効率の良い勉強方法だと納得できた。</p>	<p>◎今後も赤ペンシート作戦、他の教科に使えるかどうかも試してみる。</p> <p>◎友達がやっている方法が良い方法が他にもないか色々参考してみる。</p> <p>◎カルダをつくったりするのは大変だけど、作って効果があるならやったほうが良い。また、世界と日本と同じようにできるということは他の分野や、他の教科でも同じように考えることができることもあるかもしれない。</p> <p>◎今までは、勉強が「作業」になってしまっただけで、時間だけかけたのに効果が薄いということがあった。必ずしも勉強時間を増やせばよいのではないと思ったので、効率の良い勉強方法を探していきたい。</p>
--	---

<p>○ワークの繰り返し自分がはやく合っていた。</p> <p>○塾のテキストが自分にとってはやりやすいしわかりやすい。</p> <p>○わからない問題を周りの人にすぐに訊いてわからないままにしまった。</p> <p>○覚えた語句は自分で例文を作って理解を深めた。</p> <p>○eライブラリや予想問題で勉強してよく理解できた。</p> <p>○テストを意識した勉強を始めてからは、1年の定期テストやワークの問題を「解く」機会を増やした。何ができていないか忘れていたのかを確認できた。</p> <p>●教科書をまったく読まなかった。テストを振り返ると間違えたところもきちんと教科書に書いてあることだった。</p> <p>●分からないことはそのままにしてしまったので結局できなかった。</p> <p>●結局どうやって勉強したら良いかわからな</p>	<p>◎繰り返しは継続する。全ての問題を繰り返ししたほうが良いのか、間違えたところだけ繰り返したほうが良いのかこれから試してみたい。</p> <p>◎ワークや問題演習の回数を増やす。(一回目をシャープペンで書かず、オレンジペンと赤シートで何回も使えるようにする。)</p> <p>◎学校のテスト勉強も塾のテキストをメインにしたい。課題やカテガクとのからみで無駄な時間を減らせるようにしたい。</p> <p>◎自分でも教科書を読む、ワークの類似問題を振り返る等をして調べてみる。</p> <p>◎普段から調べる習慣を身につける。読書タイムで出てきたわからない語句はすぐに調べる。</p> <p>◎友達や先生から紹介された覚えやすい方法を取り入れる。</p> <p>◎わからないところを理解するまでやる。</p> <p>◎インプットしたことをアウトプットすることによって効果が上がらしい。実際に自分では効果があるので続けていく。</p> <p>◎勉強は大切。しかも何が出るのかどうか覚えるべきかを考えられるとGOOD。</p> <p>◎教科書は基本的にしっかりと読み込む。テストをやる前が良いのか、やった後が良いのかは自分で色々試してみる。</p> <p>◎分からないところは自分で調べるくせをつけよう。自分で調べて分からなかったら友達や先生に聞く。国語は○○、社会は△△が得意。忙しかったらネットで調べる。そういうのを調べやすいサイトや動画を知らない。</p> <p>◎漢字ドルリのチェック欄(□□)を活用して、できるようにするまでチェックする。</p> <p>◎とりあえず勉強方法を一つ決めて次のテスト</p>
--	---

<p>かった。</p> <p>●課題をこなすことだけになってしまった。</p> <p>●ただの答の丸暗記で理解してなかった。</p> <p>●なんとなく理解したところで勉強が終わってしまった。</p> <p>●暗記事項が覚えられない。</p> <p>●文字が汚くて細かいところ×になった。</p> <p>●ノートに練習だけして最後の自分の確認テストをしていなかった。</p> <p>●解いて間違えた問題を「できないまま」にしてしまっている。字で「見たことある」と思ったのにできない問題が多くて後悔しかない。</p>	<p>トで徹底的にやってみる。そのおすめの勉強補法を知りたい。何が良いか先生に聞いてみる。</p> <p>◎目的意識をもって取り組む。丸付けや間違えたところの振り返りを忘れない。</p> <p>◎全部10回練習するのではなく、わからない漢字に時間を使う。</p> <p>◎普段から一文字一文字の意味を考えて熟語を覚えるようにする。</p> <p>◎他の事象や関連事項と併せて覚える。</p> <p>◎語呂合わせを考えてみる。</p> <p>◎意味を噛み砕いて覚える。</p> <p>◎繰り返しして知識を長期記憶にしたい。</p> <p>◎書いて覚えるようにする。</p> <p>◎歩きながら覚える。</p> <p>◎声に出して覚える。</p> <p>◎リズムで覚える。</p> <p>◎普段から文字をていねいに書くようにする</p> <p>◎漢字勉強したのにミスした自分を呪いたい！この悔しい感情を忘れないで、勉強にぶつける。→スマホ時間を勉強に有効に使う</p> <p>◎塾との両立を考えて、早めに取りかかる。テスト前日の直前チェックの時間をちゃんと確保する。</p> <p>◎テスト前日の確認や繰り返しが大事だとわかった。</p> <p>◎暗記系は去年は覚えていたはずのことをかなり忘れていたので「けてぶれ」で効率良く進める。カテガクでノートにまとめたこと(隠光の反射、飛古代-)が、今回全く点数がなかった。隠光の反比例も。→「できなかったも」の勉強は×。</p>
---	--

< 観 点 時 間 > 分析 GOOD ○ 分析 BAD ● これから◎

○毎日、予定していた勉強時間よりも長く勉強できた。あまり長い時間設定をしなかったことが大きいのかも？

◎自分のやる気上げるためにも、無理な時間設定はしないで低めの設定にしておいてそれを越えることで自分を褒められるようにして

<p>○自分自身では勉強時間を長くするよりも短い時間で集中するほうが良いと感じた。</p> <p>○朝早起きして勉強する朝顔がハマった。</p> <p>○勉強した時間の分だけゲームをしていいと親と決めていた。</p> <p>○毎日決まった時間に勉強するようにしていた。カテガクで毎日10分間と決めて漢字ドリルで練習した。</p> <p>○勉強する時間を決めて(毎日朝と夕方)親や友達に宣伝してからは、きちんと時間を守って勉強ができた。スマホをタンスの中に入れた。</p> <p>○すき間時間を上手く使って勉強できた。</p> <p>●毎日勉強を続けることができなかった。サボってしまう日があった。</p> <p>●ギリギリまで溜めてしまって最後に課題を終わらせるのが苦しくなった。</p> <p>●予定をつめつめにしてしまった。</p> <p>●遅くまで勉強をしていて次の日に疲れが残ってしまった。</p> <p>●テスト範囲が終わらなかった(計画不足)</p> <p>●塾の課題に追われていた。</p> <p>●時間、量は毎日目標通りにできるようになったけど、学子の点数につながっていない内容</p>	<p>いきたい。</p> <p>◎短い時間で集中して頑張って、納得できる成果が出たら早く寝るようにする。</p> <p>◎朝顔をやるのに親も早起きをしてご飯をつくってくれた。ありがた。感謝の気持ち忘れずにいたい。</p> <p>◎自分の中でもルールを決め、一人でも実行できるようにする。</p> <p>◎毎日同じリズムでやるのが自分にはピッタリ合っている。</p> <p>◎すき間時間は実は結構ある。今まではスマホをいじっていたけどテスト期間中は単純にスマホをいじるにしても勉強アプリにしている。</p> <p>◎サボってしまう自分自身に気が付いた。これからはサボってしまうかもしれない。でも、尻付前の自分に比べたら成長。一歩ずつ進みたい。</p> <p>◎「課題=ノルマ」ではない。「課題=勉強」。自分はまだノルマとらえている。考え方を根本的に変えないとダメ。課題は勉強。そう考えたら溜める意味が分からない。</p> <p>◎短い時間で区切って勉強を行うようにする。自分にとっては30分くらいが良いかも。</p> <p>◎睡眠不足にならないように朝型に切り替える。頭が冴えてすっきりした状態で勉強できるとともに睡眠不足も解消できる。</p> <p>◎自分の特性や弱みをしっかり理解した上で計画を立てる。</p> <p>◎計画を立て、テストに向けての勉強と塾の課題とを両立する</p> <p>◎これからは部活の時間も長くなるのでとにかく質を重視していきたい。テストの得点につ</p>
---	---

<p>が多い。時間、量より質(レベルをあげること)ももっと大事にすべき。</p>	<p>ながらも勉強を一定時間やるよりも「できなかった問題をできることに」することを最優先にする。「けてぶれ」のテの量を増やして伸びしろを見極める。伸びることを伸ばす。</p> <p>◎英語が良かったけど問題が多かったらだと思。不規則動詞とか怪しいのでどンドン自分でテストをやる。</p>
--	---

★★★★

- ・ 課題対応能力をものすごく育成させている あと、自己理解の能力も成長させていると思う。
- ・ けてぶれを実行して実力テストで点が上がったのではじめてやってよかったと実感した。
- ・ これをしないとわからないことがそのままになってしまう。
- ・ けてぶ。で終わってしまわないようにしている。
- ・ しっかりと自分で考えられるようになった。
- ・ 効率的に勉強できるようになった。
- ・ 最初は効力があまりなくても、続ければ続けるほど得意と苦手がはっきりしてきたから。
- ・ 効率がいいし分からなかったところや苦手なところを見つけられるから。
- ・ 何回も繰り返しワークをといているテストはテストの点数とか上がっていった。
- ・ テストを受ける前の自分より成長できる。
- ・ 自分は何が苦手なのか分析し、繰り返し練習するようになった。
- ・ わかりやすくて簡単で効果のある勉強法だから。
- ・ テストの分析は、けてぶれがないかぎりやらなかったと思うので役立っていると思います。
- ・ 今までは、課題を早く素早く終わらせようと思っていたけど、けてぶれを意識してやり課題でも確実に勉強にすることが少しでもできた！
- ・ この話を聞いて自学の内容も変わり定期テストでいい点数を取れるようになった。
- ・ けてぶれは勉強をするときに、効率良く勉強ができる。
- ・ 今まではテストの解き直しをして終わりにしていましたが、テストに出た問題の類似問題で練習するようになりました。
- ・ けてぶれをすることにより、自分のできなかったところ理解しそのあとのことにつなげられるから。
- ・ 凄く納得のいくやり方だと思います♡。
- ・ テストの見直しにいつも役立っています。教えてくれて本当に感謝しています。
- ・ 部活でけてぶれをして自分の苦手なところを分析してそれをできるようにする練習に繋げていくことができるから。
- ・ 実際にやってみて効果があったため。
- ・ 効率よくできて、勉強の復習予習によく使えた。
- ・ けてぶれを意識して成績が上がった。
- ・ 分かりやすいし、かてがくでやって成果が出たから。
- ・ 実際にやってから自分の弱点が分かってそこを克服しようとすることで育成されていくんだと思う。これをしないとわからないことがそのままになってしまうから。
- ・ けてぶれをすることによって、自分が今どんな感じかという現状を知ることができているのでとても役立っています。
- ・ かてがくに、けてぶれをするようになってから記憶力が上がった気がします。問題を出来るまで取り組むことで自分の自信にもつながりました。
- ・ 繰り返すことや分析することで、だめな部分が見つかるし、自分を知る機会にもなると思うから。

★★★★

- ・常に考えるだけで何事も効率よく、人に公平な対応ができると思う・両方のバランスを取りながら世界はできているんだと知ってこれって成り立っているのかなと考えるようになりました。
- ・自己理解の成長になっている。
- ・効率と公正がどうすればっていう考えは人の気持ちを考えられるようになりそう。
- ・効率が良くても誰か1人でも不信に感じるなら公平ではないから、しっかりと考えられた方がいい。
- ・自分は公正を基準にやっていたが効率的にみる観点が増えた。
- ・効率と公正どちらかに偏るやり方だとあまりいいやり方ではないことがわかった。
- ・授業でやった右上の枠の中に入れば役に立ち、左下は最悪。
- ・どっちかが欠けてたらだめだから。
- ・基礎の公正という面では自分は周りと同じくらい劣っているなど人と接していて思いました効率の面でも自分はようりがよいとは言えないので他の人より少しでもいいから時間を使ってその人のことを理解するなどのことをしています。
- ・手段を多く考えることで最善の答えを導き出せたから。
- ・「効率だけ」や「公正だけ」では何をやってもうまくいかないから、それについて考えることは大切だと思います。
- ・効率だけじゃだめなんだと改めてわかることができたから。
- ・効率と公正どちらかに偏るやり方だとあまりいいやり方ではないことがわかりました。

★★★

- ・少数派の意見も大切にしなければいけないと思った。

社会科公民分野での「現代社会の見方や考え方」も一つのマインドセットとして利用。授業で学習したばかりでもあったので、アンケートの数値が高く出たと考えられる。

★★★★

- ・たまにカテガクを同じ単語を5回書いたりすることがあり、あまり意味がなかった時があったけど圧倒的目意識して、作業からちゃんとしたカテガクにすることが出来た！たまに塾で解いた過去問をやり直したりした。
- ・目的を決めることで最短ルートで目的を達成できるのかなと思ったか
- ・部活のメニューを何も考えずにやるより、何を目的としてやっているのか考えてやったほうが必ず成長すると思った。
- ・意味のある家庭学習を意識して、無駄な余白やわかっている問題の繰り返しなどはやらずに何回も間違えているところを集中的にやった。
- ・目的を意識することで基礎的な部分が成長するとおもう。

★★★★

- ・ 体育祭で圧倒的目的意識を達成して優勝できた。
- ・ 近年、目的の手段化が増えてきていると思うので、定期的に「圧倒的目的意識」の話をして下さると、みんなが見直すいい機会になると思います。
- ・ 勉強とかに目的があると、集中してやるようになって質もあがるから。
- ・ 圧倒的目的意識を 常に持ち続けて勉強したら、成績がすごくあがったから。
- ・ 常に目的を持ちながら生活できるようになると一人一人の意識が変わる。
- ・ 部活でメニューをこなすだけでなくに目的を持って行動できるから。
- ・ 目的がないと成長する手順が無くなるから…。
- ・ ずっと言われていることだから自然と考えられるようになってきていて、役立っていると思います。
- ・ 話し合いの時に、目的にそって話し合いを進められているか、と考えられます。
- ・ テスト勉強のときに圧倒的目的意識をすることで、効率の良い勉強ができています。
- ・ 目的を意識することでその目的を達成するにはどうしたらよいかを決めることができるから。
- ・ 勉強や部活などで手段であったことが目的化になっていたときに、軌道修正ができるから。
- ・ 部活で目的意識をもって取り組むことでためになる練習にすることができたから。
- ・ 部活などで目的を見失わずに練習に取り組んでいるから。
- ・ 人生を通して利用できると思ったから。
- ・ 目的を意識することで行動の理由を明確にできるから。
- ・ 手段の目的化、カテグクの作業化をしないために圧倒的目的意識はいい。
- ・ 部活で目的を考えながら練習すると上達が早いから。
- ・ 勉強するときにはただ問題を解くだけでなく効率を考えて勉強するようになった。
- ・ 何をすればいいかわからない時からの目標の組み立てによく使っている。
- ・ ただ作業化になるのではなく、それはなんのためにやるのか、やることによってどうなるのかを考えることで効果的に効率よくできていると思ったから。
- ・ 部活の例になってしまうんですが、ここを意識しようと思ってやるとできるよう考えてやるが増えた。
- ・ 目的意識をもつことで、自分が何をすればいいのか、見失わないようになるので効率よく物事を進められると思った。
- ・ 目的があれば、やる気も出るし自分がいまだれくらい勉強とかしてるか意識の違いでやるかやらないかわかるから。

★★★

- ・ 目的がないと人間だれしも途中で何をしているのか、何がしたいのかわからなくなってしまうから。
- ・ 目的に向かって頑張ることで、勝手に身についていくと思う。
- ・ 目的（目標）がないと目指すところがなく、やっている意味がないと思ってしまう。
- ・ 目の前の目標だけではなくその先のことも考えるのはこれから先も役立つと思う。
- ・ 結局何がしたいのか〈？〉みたいのを思い出させてくれるから。
- ・ 目的を持たないのと持つのではモチベが違くなる気がする。

★★

- ・ 目的があった方がそれを達成するために頑張れると思うからです。

○成功？失敗？ 数値 3.29

★★★★

- ・失敗も成功の基といわれるように成功も失敗も役に立っていると思う。
- ・失敗を恐れずに色々なことに挑戦することは大切だと思います。
- ・成功しても失敗しても全部自分の成長につながっているということを知れた。
- ・基礎のところができなくていつも失敗しちゃったなーと思っていたんですけど失敗を振り返らないで放置するのが失敗だと知れたので反省できるようになって前向きになれました。
- ・失敗は成功のもと＝失敗すればするだけコツをつかめ成功する。
- ・成功や失敗に関わらず、チャレンジすることが多くなった。
- ・正しいことだけが成功ではないし、これから先、失敗したと思っても前向きになれると思う。
- ・失敗してもそのあとが肝心なんだと思えるようになったから。
- ・失敗を恐れてはだめなこと知った。
- ・成功と失敗は、名前が違うだけで成功だと思います。
- ・成功したらとってもうれしいことだし失敗してもどうやったら成功に行けるか考えて成長すると思う。
- ・失敗すると誰でも暗い気持ちになりがちだけど、そうではなく 次どうするかが大切なんだと思った。失敗することは決して悪いことではなくて自分が成長できるチャンスなんだと考えを改めることができた。
- ・失敗してもしないで終わるよりはいいことだと思った。

★★★

- ・どちらにせよ、挑戦をしているので何もしていないよりは成功に一步近づいているから。
- ・失敗することによって、失敗したことを成功に導くといった意識をもって練習などができ、逆に成功はそれを維持しなければならないのでどちらも努力するのでとても役立っていると思います。
- ・以前は失敗を恐れてたけど恐れなくなった。
- ・成功して得られることもあるし、失敗して得られることもあるから。
- ・失敗してもあた立ち上がる人でありたい。

★★

- ・あまり意味が理解できていなく、わからなかったです。

○やる気の出し方 数値 3.18

★★★★

- ・勉強をしたくない時にとりあえず塾に行って勉強をしているといつの間にかすごく楽しくなっていた。
- ・確かに、最初は全くやる気が起きなくても一度勉強し始めるとそのままやり進めているから。

★★★★

- ・勉強をしたくない時にとりあえず塾に行って勉強をしてるといつの間にかすごく楽しくなっていた。
- ・確かに、最初は全くやる気が起きなくても一度勉強し始めるとそのままやり進めているから。
- ・今までは勉強もやる気が出ないからという建前で逃げていたのがよくわかり一回試しに好きな音楽とかを流しながらやり始めてみたら少しだけ効果が出てきた。
- ・やりたくないこともいざやってみたら集中できたことが多くあるから。
- ・日ごろから練習を頑張れば自然とやる気になるから。
- ・自分は大のめんどくさがり屋なのでこの話を聞いて勉強に取り組むまでの時間を早くすることができたから。
- ・やる気がすぐに出せないので、気持ちの切り替えをするときによく使っています。
- ・テスト前に勉強をいやいやしていたら流れにノってきたことがあった。

★★★

- ・10分だけでもやろうと始めて30分以上たっていたことがよくあった。
- ・やる気が出ない時こそ何事にも挑戦して行動していきたいと思います。
- ・やる気のないときに一回少しでもいいから解ける問題やって集中を高めてからやったら少しでも長く集中して出来た！

○友達考察「ぼっちを恐れるな」	数値 3.16	○メタ認知	数値 3.16
○「分かる」について	数値 3.15	○殻を破れ！	数値 3.14
○心マトリクス	数値 3.13	○ピンチはチャンス	数値 3.11

<教員アンケートから>

- ・とにかく色々な人と話し、意見を聴き、「自分はどう思うか」を考えると、クラスでよく話をしています。特に自分の興味がなさそうなことや、苦手な人との関わりこそ、拒絶するのではなく、経験していくといいよと伝え、自分自身の考えも伝えるようにしています。
- ・部活動で日頃から、技能だけではなく、目標に向かって努力を重ねることとチームのために力を発揮することなどを伝えてきました。最高学年になり、より社会性を身につけてきました。

<その他 取り組み>

○学年文庫

学年文庫として、学年の廊下に本棚を設置し、教員おススメのビジネス書や自己啓発系の本も置いた。それらの本には、リアルタイムで社会に求められている避妊能力に直結する内容も多く、「基礎的・汎用的能力」の育成に役立つと考えられる。



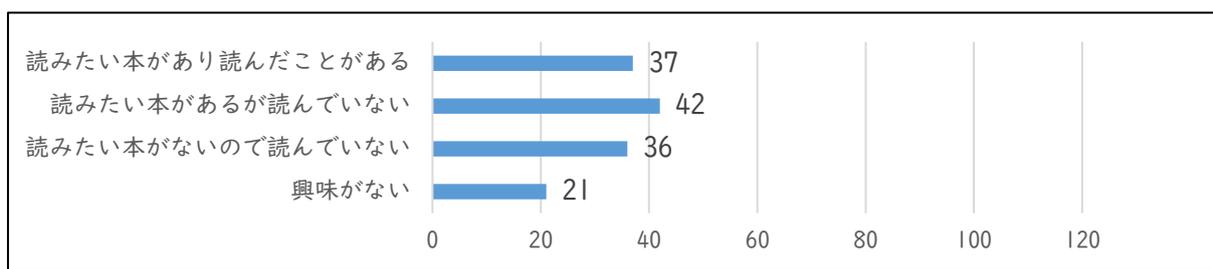
本を読むことで満足してはいけない。読んだ上で「自分で考える」ことが大切。ドラゴン桜の桜木も孔子も同じようなことを言ってます。これを忘れないように掲示。

ドラゴン桜2の連載、ドラマ放映等により、ドラゴン桜関連の本が多く出版されました。生徒の関心も高く、常に貸し出し状態が続きました。



タイムリーに読ませたい本はPOPを付けて紹介。

・ 学年文庫に対する生徒アンケート



- ・ アホとは戦うなというほんで日常には必ず一人はいる嫌味っぽい奴の対処法がわかりました。
- ・ 読んでみようと思っても誰かに取られているから。
- ・ テレビでドラゴン桜を見て面白かったから読んでみようと思った。
- ・ これよさそうだなと思って見てみたら自分の思ってたのとちがかった。 etc...

・マインドセットに役立ちそうな学年文庫の例

勉強方法

『超効率勉強法』 『中高生の勉強あるある。解決します』
『やってはいけない勉強法』 『ドラゴン桜 人はなぜ学び何を学ぶのか』
『ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書』 『進化する勉強法』
『ドラゴン桜と FFS 理論が教えてくれる あなたが伸びる学び型』

哲学

『マンガ老荘の思想』 『最強！のニーチェ入門 幸福になる哲学』 『使える禅』
『はじめての哲学的思考』 『マンガで読破 ブッダの言葉』 『子ども武士道』
『漫画版論語と算盤』 『哲学と宗教全史』

人間関係

『10代の「めんどい」が楽になる本』 『多分、そいつ今頃パフェとか食ってるよ』
『うつヌケ』 『だめなら逃げてみる』 『お金 2.0』

資産運用

『14歳からのお金の話』 『おカネの教室』 『お金 2.0』
『漫画バビロン大富豪の教え』 『お金の増やし方を教えてください』

自己啓発

『本気の説教』 『なんのために学ぶのか』 『働き方 5.0』
『13歳からのアート思考』 『人生の勝算』 『革命のファンファーレ』
『わけるとつなく』 『魔法のコンパス』 『シン・ニホン』
『頭にきてもアホとは戦うな』 『ニュータイプの時代』
『ついやってしまう体験の作り方』 『トヨタの片付け』 『マンガでみにつくPDCA』
『ハック思考』 『2030年の世界地図帳』 『天才を殺す凡人』 『ボトムアップ理論』
『勉強するのは何のため？』 『マンガで分かる世の中のルール』 『戦略図鑑』
『世界一のプログラマーがやってる努力 2.0』 『革命家100の言葉』
『世界のエリートはなぜ美意識を鍛えるのか』 『大人は知らない今ない仕事図鑑』
『自頭力を鍛える』 『マンガで分かる7つの習慣』 『マンガで分かるサピエンス全史』
『人生ドラクエ化マニュアル』 『働く理由』 『働き方完全無双』 『怒らない技術』
『ミライの武器』 『ミライの授業』 『これからの生き方』 『賢者の言葉』
『FACT FULNESS』 『図解モチベーション大百科』 『こども六法』 『いのちの食べ方』

OGIGA スクール構想の中でのタブレットの自律的運用

タブレットの運用について、自らを律し、目的に合った使い方をさせることを大前提とし、持ち帰り等は自由、基本的に自らの責任で管理させる運用を行っている。

タブレット運用に関しての本校情報担当教諭が作成したパンフレット

タブレットを活用するために
キーワードは、「当たり前」と「変化」。

今まではスマホやタブレットを使わない・使う機会が当たり前でした。しかし、これからの時代はそれらを使うこと・使わせることが当たり前になっていきます。

ご家庭へのお願い。
これからの学習は、タブレットを用いて行うことが当たり前になっていきます。子どもたちの情報モラルや学習以外の使用など、心配な点は多くあると思います。しかしながら、今後の社会を見据えたとし、必要なのは抑制ではなく、正しい使い方や情報モラルを伝えていくことです。
学校でも引き続き指導は行っていますが、ご家庭でもタブレットを利用するためのルール作りや注意点の確認、利用中の声掛けなど、よろしくお願ひいたします。

学校におけるタブレットは文房具
ペンやノートを使うのと同じ感覚

基本的な使い方① (office365)
office365 を用いて、班ごとの共同作業やレポートの作成、意見交換などを行います。意見交換の場面では、一人ひとりの意見瞬時に共有され、より深く学習することができます。
また、オンライン授業も行うことが

基本的な使い方② (ミライシート)
教材では、AI が一人ひとりの傾向を分析し、最適な問題を出題してくれます。家庭学習で「初見していきかわからない」という子の手助けになります。

Q & A

Q. 学校でのタブレット管理はどうなっていますか。
A. 学校では生徒一人ひとりの自己管理となります。しっかりと責任感をもって管理できるよう指導していきます。

Q. 子どもがトラブルに巻き込まれることはないでしょうか。
A. トラブルに巻き込まれることは十分考えられます。しかし、将来を見据えたとき、トラブルを恐れて使わないという選択よりも、情報モラルを念めて、ご家庭と学校でしっかりと指導していくことが子どもたちの成長につながると考えます。

Q. 学習目的以外にタブレットを使用するのではないかと心配です。
A. 学習以外の目的で利用することも考えられます。しかし、そのリスクを恐れていたら今後の機会に求められる能力を養うことはできません。学校でも指導はしていますが、ご家庭でもタブレットを使用する目的を明確にして頂くとともに、適切な声掛けをお願いします。

Q. タブレットが故障した場合はどうなりますか。
A. 故障の場合は同費購入となります。しかし、過失であった場合は必ずお詫言います。いずれの場合でも、故障した際は、学校にご連絡ください。

Q. 家庭には無理に持ち帰ってのではありませんか。
A. 子どもたちの判断によって程度は変わります。家庭学習で使用したい場合や課題をタブレットで行う場合は持ち帰ります。学校外で使うことがないようであれば、学校において帰ります。

① 学校 LAN の整備
② 一人一台パソコンの導入
③ 校務のクラウド化
④ ICT の活用

この GIGA スクール構想に基づいて、四街道市でも令和 2 年度より各小中学校にタブレットが導入されています。

タブレットが学校に導入された背景をご理解いただき、子どもたちが活用できるよう、ご協力をお願いします。

「タブレットは文房具」が基本。よって、使用を極端に制限せずに、「正しい使い方をしていこう」をベースとして指導。

○命を大切にしている授業 SC による「ストレスマネジメント」講話

SC と協力し、学年に対し「ストレスマネジメント」に対する講演会を行った。その中で、「認知の歪み」という概念についての話があり、ストレスに対する、対処法を考えるきっかけとなった生徒も多かった。

ストレス マネジメント

— 「心のうつわ」と「ユガミン」の話 —

四街道北中学校
スクールカウンセラー 並木 桂

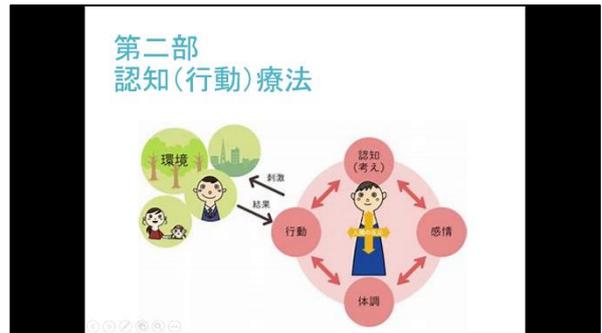
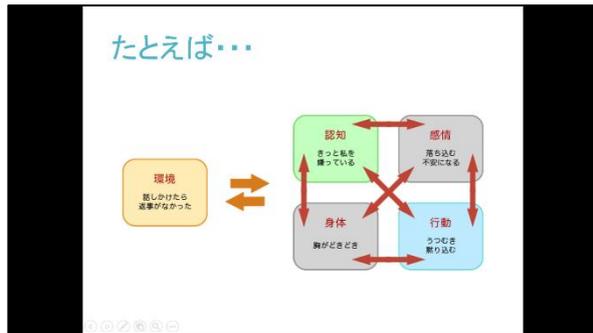
注意事項

☆ストレスを自分で抱えられない場合、人は無意識に弱立場の人に負の感情を向けてしまう。

あなたは 大丈夫？

⇒ 誰かに自分のストレスを 向けていませんか？
「あいつもかつく」「あいつに イライラさせられる」
その感情、本当に 相手のせい？

⇒ 誰かに ストレスを 向けられていませんか？
理不尽な攻撃を受けて「自分のせいだ」と
思っていないですか？
つらいと感じたら、すぐに相談を！



「認知の歪み」をキャラクター化した「ユガミン」。
『認知療法トレーニングブック』より
竹田伸也 遠見書房

生徒の感想

- ・ユガミンの話聞いてから、物事に対しての考え方が変わった。
 - ・自分にも共通している部分があったから、話を聞いてよかった。
 - ・心が荒れているとき、自分または相手が何に属していてどういう状況なのかわかる。
 - ・自分の気持ちを理解して生活することが大切だと思った。
 - ・自分のことを理解する事で、これからのことをよく考える事ができる。
 - ・自分がどういう状態か理解しようとする気持ちが作れた。
 - ・自分のユガミンは何なのかを知り、何事もポジティブに考えることが多くなった。
 - ・人それぞれ違った心を待っているのをそれを理解することは大切だと思いました。
- etc...

廊下掲示



ユガミンについて学年廊下に掲示。対処法として「ツッコミン」を心の中においておこう。

○黒マスク禁止ルール改正のための生徒会の取り組み

本校では、黒マスク禁止と言うルールを設定していた。R3年度になり、教員からは、「ルールを変更しよう」と言う声が上がった。生徒が自分達で主体的に考え、生活を向上させようとする気持ちを大切にさせるため、生徒の意見を吸い上げ、生徒会活動の中で生徒による話し合いの中でルールを変更していく流れを大切に指導を行った。

結果、生徒総会で「生徒の意見」としてまとめ上げ、学校側に生徒から提案し、その意見をもとに、先生方が職員会議で検討を行うという形でルールの変更が行われた。

<参考文献>

○書籍 等

『けてぶれ宿題革命!』 葛原翔太 著

『中学校キャリア教育の手引き』 文科省

『新学習指導要領におけるキャリア教育』 国立教育政策研究所

『学習意欲の向上を促すキャリア教育』 国立教育政策研究所

『キャリア教育を一步進める評価』 国立教育政策研究所

『個々のキャリア発達を踏まえた“教師”の働きかけ』 国立教育政策研究所